連作障害を回避する取組の例

	土壌改良資材・有機物(堆肥、もみ殻等を含む。)の施用 ※散布量は10a当たりの目安です	土壌に係る薬剤の散布	後作緑肥の作付け	病害虫抵抗性品種	横手市農業再生協議会が連作障害を 回避する取組と判断する取組
麦	■土壌改良:pH6.0~6.5に矯正 ■有機物施用による地力増強 転炉炭カル 概ね40~80kg 堆 肥 概ね0.5t~1.0t 鶏 糞 概ね45~90kg				【全共通】 ■土壌診断に基づく土づくり
大豆	■土壌改良: pH6.0~6.5に矯正 ■有機物施用による地力増強 転炉炭カル 概ね30~60kg 堆 肥 概ね0.5t~1.0t 鶏 糞 概ね45~90kg				【麦・大豆・そば共通】
そば	■土壌改良:pH6.0前後に矯正 ■有機物施用による地力増強 炭カル 概ね25~50kg 堆 肥 概ね0.5t~1.0t 鶏 糞 概ね45~90kg				■排水対策 :排水状況や下層礫の多寡に応じた、
野菜	 ■堆肥(地力の維持等)の施用 :ニュー・スーパーコン、牛糞堆肥、豚糞堆肥、鶏糞堆肥、バーク堆肥、もみがら堆肥、菌床堆肥、カブトムシ堆肥など ■有機質資材の施用 :稲わら、籾殻、麦稈、そばわら、大豆かす、キチン質資材など ■土壌改良剤の施用 ●スイカ(普通栽培の場合):苦土石灰(粒)100kg、マルチサポート1号40kg など ●アスパラガス(露地の場合):土の素ユーキ225kg、グリコーカ(粉)100kg など ●キュウリ(露地の場合):おがるくん2(90kg)、セルカ48(100kg)、ライフグリーン60kg、粒状チャンス60kgなど ●ねぎ:苦土石灰(粒)100kg、石灰窒素(粒)40kg、ストロングバランス100kgなど ●そら豆:レオグリーン特号200~300kg、スーパー炭素200~400以、BMようりん(粒)40~60kg、苦土石灰(粒)120kgなど ●大マト・オ海ピート、ピートモス3.8Q、シェルカン・パワー、卵殻エース、苦土石灰、マルチサポート1号、FTEなど ■有機質肥料の使用:有機アグレット666、有機アグレット816、バイオエースなたね粕、味のふるさと園芸肥料など ■石灰窒素による殺菌 	■ 大き菊・ では、	■緑肥作物 : イネ科(エンバク類、ライムギなど)、マメ科(ヘアリーバー類、カラントの他(マリーゴールド、カラシーが、カラシーをとり) ■除塩作物 : トウモロコシ、ソルガムなど ■施設栽培夏秋品目の後作(除塩対策) : 冬期間ほうれん草・アスパラ菜・チンゲン菜・チンゲイ	■ 接ぎ (スカ、ト、)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
花き	■てんろ石灰による土壌pH矯正:きゅうりホモプシス根腐病予防 ■堆肥(地力の維持等)の使用:ニュー・スーパーコン ■土壌分析結果を活用した土壌改良剤の施用 :てんろ石灰、DL消石灰、苦土石灰(粒)、畑のカルシウム、70粒状消石 灰、ストロングバランス、ようりん(粒)、エスアイフミン、レオグリーン特 号、ネバリン、スーパーベラボン、ケイントップなど ■有機質肥料の使用 :有機アグレット666、有機アグレット816、バイオエース、なたね粕など	■土壌消毒剤 :クロルピクリン剤、 ダゾメット剤、ホス チアゼード剤など ■土壌処理薬剤 :ユニフォーム粒剤 など	■後作に緑肥作物(エンバク類、クローバー類など)の作付 ■除塩作物(ソルガムなど)の作付と持ち出し ■施設栽培夏秋品目の後作(除塩対策) :冬期間ほうれん草・アスパラ菜・チンゲン菜等の作付		